

# ちばの博物館

<http://www.chibahaku.skr.jp/hp/>

発行・編集  
千葉県博物館協会  
〒260-8682  
千葉市中央区青葉町955番地  
千葉県立中央博物館  
TEL.043-265-3111

## 「歴史をつなぐ、人をつなぐ」を合言葉に —市原歴史博物館の開館—



▲市原歴史博物館外観

市原市は、県内で市域が最も広く、北部は東京湾に面して京葉臨海工業地帯の中核を担い、南部は自然豊かな養老溪谷を抱え、養老川が市を南北に縦断し東京湾に注ぎます。

古代には上総国の国府や国分寺が置かれ、政治・経済・文化の中心として栄え、多くの歴史遺産を有しますが、近年の人口減少や少子高齢化などの社会構造の変化により、その歴史遺産を支えてきた地域社会の衰退や、継承するための担い手不足などの問題が生じています。

市原市では、こうした課題に取り組むため、平成29年度に「いちばら歴史のミュージアム事業基本計画」を策定し、「歴史をつなぐ、人をつなぐ」を基本理念に、市民協働による歴史遺産を核

とした取組みを継続的に行うとともに、歴史遺産の価値と魅力をわかりやすく伝え、活動と交流の拠点となる市原歴史博物館の整備を進め、令和4年11月20日にようやく開館を迎えることができました。

### 《基本情報》

- (1) 開館時間 午前9時から午後5時まで(月曜日休館)
- (2) 観覧料 大人一般300円・団体200円、  
高校生一般200円・団体100円、中学生以下無料  
(※企画展・特別展については別料金)
- (3) 面積等 博物館：1,640.11㎡(鉄筋コンクリート造)  
体験館：1,794.71㎡(鉄骨造)
- (4) 所在地 市原市能満1489番地

◆問い合わせ先／電話 0436-41-9344

◆ホームページ／<https://www.imuseum.jp>



▲博物館エントランス

- 「歴史をつなぐ、人をつなぐ」を合言葉に—市原歴史博物館の開館—…………… 1
- 市原歴史博物館の取組みについて… 2～3
- 探訪 ちばの博物館-第1回 市川自然博物館… 4～5
- 県内トピックス —令和4年度の展覧会とコロナ対応—…………… 6～7

- 第71回全国博物館大会(千葉大会)の開催について… 7
- 加盟館園一覧 令和4・5年度 役員・委員紹介… 8
- 令和4年度各委員会活動報告… 9
- 令和5年度の催し…………… 10
- 展覧会案内…………… 11
- 日誌抄・編集後記…………… 12

No.147・148  
2023.3.31

## 市原歴史博物館の取組みについて

市原歴史博物館 学芸員 芝崎浩平

市原歴史博物館の取組みは、市民とともに未来へつないでいくプロジェクトとして、「I' Museum (アイミュージアム)」と名付け、3つの要素で構成しています。

# I' Museum

▲ロゴデザイン

### 《取組み》

#### ①市原歴史博物館

「I' Museum Center (アイミュージアムセンター)」

旧石器時代から近現代まで扱い、展示室に可動間仕切りを採用し企画展などに対応します。展示室には、国産最古の有銘鉄剣である稲荷台1号墳出土「王賜」銘鉄剣をはじめ、山倉1号墳の人物埴輪など「いちはらの至宝」が集結しています。

#### ②歴史体験館

旧屋内ゲートボール場を改装し、全天候型屋内体験学習施設「歴史体験館」を併設しました。ここでは発掘体験や貝輪づくりなど、さまざまな体験プログラムを実施し、学校教育との連動を図り、「見る」に加えて「参加する・体験する」ことで、子どもたちの歴史文化への理解を深め、長く記憶に残る学びの場を提供します。

#### ③フィールドミュージアム

「I' Museum Field (アイミュージアムフィールド)」

市内全域を「屋根のない博物館」と見立て、史跡や建造物、道標など、地域に点在する身近な歴史遺産の価値を知ってもらうため、見学コースを設定し、現地案内サインを設置するとともにイラストマップを作成し、見学環境を整えます。

### 《展示の概要》

博物館の展示は、「東京湾と養老川が織りなす市原の歴史への旅」を基本テーマに、「自然環境への適応(旧石器～縄文)」、「フサの原像(弥生～古墳)」、「国府は市原郡にあり(古代～中世)」、「民衆のちから(近世)」、「農・漁村から工業都市へ(近代～



▲山倉1号墳の人物埴輪

現代)」、「くらしの姿と生活道具(民俗)」で構成しています。

歴史体験館では、市内で調査された遺跡の発掘現場、竪穴建物、古墳、市内民家の窯場を参考に納屋風建物などを再現しています。実際の遺物を発掘する「発掘体験」や「古墳時代の生活体験」、「古代衣装体験」、昔の生活道具や農具を使う体験や、昔の遊びを体験する「少し昔のくらし体験」、「貝輪」や「勾玉」などを作るものづくり体験など様々な体験プログラムを用意しています。



▲発掘体験の様子

### 《人材育成》

市原市生涯学習センターが主催する市民大学専門講座「歴史文化リエゾン(市民学芸員)コース」で養成した市民学芸員たちを、博物館で「アイミュージアムサポーターズ」として登録し、各種体験講座の体験指導、フィールドミュージアムでのガイド、史跡の保存活用などの活動に従事できる人材を育成しています。



▲昔の道具体験を指導するサポーターズ

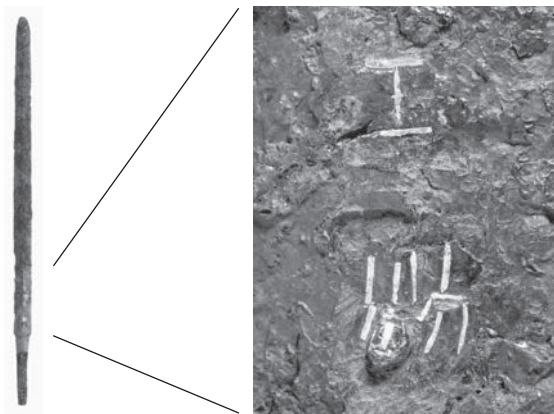




▲常設展示室の様子



▲民俗展示室の様子



▲「王賜」銘鉄剣



▲フィールドミュージアム現地サインの設置

## 令和5年度催し予定

### ●市原歴史博物館

TEL 0436-41-9344

- 展覧会 特別展「いちはらのお薬師様－流行り病と民衆の祈り－」（仮題） 10月1日～12月24日
- 講演会・講座等 館長講座（博物館学を内容とした計6回の連続講座）  
4月20日、6月、8月、10月、12月、2月
- 講演会・講座等 いちはら郷土学習講座（計3回） 7月8日、10月21日、3月16日
- その他イベント等 桜まつり 4月16日

## 展覧会案内

### 特別展「いちはらのお薬師様－流行り病と民衆の祈り－」（仮題）

古代より様々な疫病や飢餓に悩まされてきた国家や民衆にとって、その病を取り除いてくれる薬師如来の存在は、どの仏よりも身近に感じたことでしょう。本展覧会では、市原市内に伝わる平安時代から室町時代までの薬師仏を展示し、上総国分寺を中心とした薬師信仰の伝播と現在に伝わる民衆の祈りのすがたを紹介いたします。



探訪

## ちばの博物館

## —第1回 市川自然博物館—

船橋市郷土資料館 学芸員 小田真裕  
千葉県立中央博物館 研究員 平田和彦

千葉県博物館協会広報委員会では、県博協加盟館園の魅力各館園の職員や利用者に伝えたいと考え、新コーナー「探訪 ちばの博物館」を企画しました。このコーナーでは、専門分野の異なる広報委員がタッグを組んで博物館を訪問し、それぞれの視点から、訪問先の展示や活動などの注目点を紹介します。



訪問日：令和5年2月5日(日)

写真左から

平田和彦 (千葉県立中央博物館、専門は鳥類生態学)

金子謙一 (市川自然博物館、専門は植物生態学)

小田真裕 (船橋市郷土資料館、専門は日本近世史)

## ■博物館の特徴

市川自然博物館（以下、自然博）の大きな特徴が、動物園（市川市動植物園）内という立地である。学芸員の金子謙一さんによると、土日祝日は、動物園利用者が多く博物館にも足を運ぶそうで、授乳スペースやトイレを利用するついでに展示を見る来館者も多いという。私たちが訪問した時は日曜日の午後で、来館者が絶えなかった。しかも、展示室から出てくる人たちは、全員が笑顔で喜んで帰っていった。展示室の出入口付近に立っている金子さんたち博物館職員も笑顔で、とても良い雰囲気だと感じた。



写真1：動線の自由度が高い展示室内

来館者たちの笑顔の理由はどこにあるのか。私たちは、その理由として、小児が飽きないように工夫された展示構成に注目した。

自然博の展示は、小さなトピックが互いにあまり関連付けられることなく配置されていた。多くの地域博物館では、地域色を前面に打ち出し、各トピックをつなぐストーリーが重視される。一方、自然博の展示は、動線の自由度が高く（写真1）、気になる展示物を好きな順にアラカルトで楽しめる「動物園的」な展示になっている。一方で、動物園と博物館が立地する長田谷津の湧水に関する展示の充実には、地域博物館の矜

持を感じさせる。東京都に隣接する市川市では、長田谷津を残して、多くの自然がすでに失われた。金子さんの「自然の少ない地域にこそ、自然博物館の存在が大切だ」という言葉は、とても印象深かった。

## ■来館者の声

先述したように、自然博の土日祝日の来館者は、動物園目当てで来た新規の来館者が多い。私たちがインタビューした流山市在住の家族（両親と2児）は、「子どもが好きな虫の標本は動物園にはない。これをじっくり見られて嬉しい」（母）と、動物園と博物館が併設されていることを歓迎していた（写真2）。

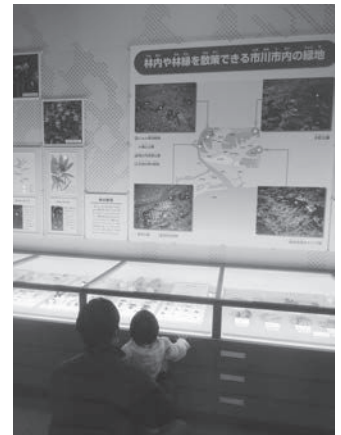


写真2：子どもの目線でも見やすい「林の昆虫」の標本

また、自然博目当ての来館者にも話を聞いた。市川市在住の家族（両親と2児）は、両親ともに市川市出身で、自然博には小学生の頃まで何度も足を運んだそ



写真3：地元育ちの両親のおすすめ展示物「昭和60年頃の市川市のおようす」（模型）



うだ。その後、20年ぐらい来ていなかったが、子どもが生まれ、再びリピーターになったという。「頻繁に来るので、カエルの成長を見るのが楽しみ」(母)、「科博にはない地元の情報が良い。(博物館の近くで見られる)谷津の非現実感が好き」(父)など、何度も訪れる意義や周辺環境と絡めた展示の魅力を教えてくれた(写真3)。金子さんが館の生命線だと語る「動物園と谷津の湧水」が、来館者の心を掴んでいることを実感した。

### ■鳥類の専門家 平田の視点

私は2つの展示に魅力を感じた。

1つは、かつて市川市内にあった毛織工場の周辺で多くの帰化植物が確認されたことを紹介する展示。布地で作った羊の模型に、多様な「ひつつきむし」が付けられていた。

もう1つは、様々な巣材で作られたカラスの巣を



写真4: 右側のカラスの巣には細いハンガー（針金ハンガー）が刺さっている。

並べた展示(写真4)。この中に、卵が産み落とされる産座の部分に馬の毛が敷き詰められた巣があった。

これらの展示は一見すると関連がなく思えるが、いずれも動物園に隣接する博物館にある意義が大きいと感じる。動物園を楽しむうえで新たな視点を提供するからだ。この展示を見た来館者が次に動物園を訪れた際に、羊や馬といった展示動物にのみ注目するのではなく、それらを取り巻く他の生物や、生物どうしの関わり、さらには野生の生物にまで視野を広げるきっかけになるのではないかと期待させられた。

### ■地域史の専門家 小田の視点

展示室では、展示内容と市立小学校で採択されている教科書の関係が紹介されていた。小学校の学習内容との関係に注目するのは、教育委員会が所管する公立博物館らしいと感じた。また、理科以外の教科(国語・総合・生活)が自然博の展示と予想以上に関係していることを知れて、視野が広がったように感じた。金子

さんによると、上の子が小学生という来館者が多いので、教科書の内容を展示で紹介し、家の中で親子がつながるきっかけを提供したいと考えたそうだ。

また、しくみも制作費も「チープ」な展示物が複数あり、いずれも、かなり楽しかった。間違えた餌で釣ろうとすると空き缶や長靴が出てくる釣りゲーム(写真5)は、同じタイミングでチャレンジしていた小学生に冷やかな目で見られるほど楽しんでしまった。釣れる「ゴミ」は、実際に海などで収集したそうなので、楽しいだけでなく、環境問題を考えるきっかけになる展示物である。

金子さんによると、自然博では、「これを置いたら子どもたちが楽しんでくれて、晩ご飯の時の話題になる」と思う展示物を考えているそうだ。自然博の展示は、ストーリー重視とはいえない「動物園的」なものだが、「家に帰ってからみんなで楽しめるように」という観点が貫かれていると感じた。



写真5: 展示室出口付近の釣りゲームは、開館数年後に作られ、約30年間変わらぬ人気を誇る。

### 市川自然博物館

- ◆所在地 / 〒272-0801 市川市大町284 動植物園内
- ◆開館時間 / 9時から16時30分まで(入館は16時まで)
- ◆休館日 / 毎週月曜日(祝日と重なった場合は翌日) 年未年始
- ◆入館料 / 自然博物館のみの利用は無料 動物園施設利用の場合は動物園の入園料
- ◆問い合わせ先 / 電話047-339-0477

## ☆県内トピックス —令和4年度の展覧会とコロナ対応— ☆

『ちばの博物館』No.146(2022年3月31日発行)では、加盟館園の新型コロナウイルス感染症対応を紹介しました。本号では、令和4年度(2022年4月～3月)に開催された展覧会の内容と展覧会でのコロナ対応を紹介します。

### 廣池千九郎記念館

#### 企画展 孝行 -廣池千九郎の道德教育の原点-

<会 期>令和4年6月4日(土)～令和5年5月末

(期間中展示替えあり)

今年度の企画展示は、廣池が行った道德教育に焦点を当て、特にその原点である「孝行」をテーマとしました。廣池の青少年期における親孝行の記録や教員時代の修身(道德)の教材、孝道に関する研究書や参考文献などを展示しています。

コロナ対策としては、昨年度に引き続き、開館時間の短縮や団体客の受け入れ人数の制限を行いました。企画展示においてはギャラリートークを中止する代わりに、簡易な図録を無料で配布しています。



### 千葉県立中央博物館

#### 令和4年度特別展 鯨

<会 期>令和4年7月16日(土)～9月25日(日)

鯨の進化や多様性、知られざる生態等自然科学的な面から、人の生活と鯨の関わりといった人文科学的な面まで、鯨の魅力を様々な角度から幅広く紹介する特別展を実施しました。

コロナ対応として、入館時の手指消毒及び展示ケースの定期的な除菌を行いました。展示解説をはじめとする関連行事は、人数制限を設け、参加者同士の距離を離すこと、道具や観察標本を共有しないことを条件に実施しました。しかし、ハンズ・オン展示だけは再開できませんでした。



### 船橋市郷土資料館

#### 開館50周年記念企画展

#### 船橋を知るための50の扉

<会 期>令和4年7月16日(土)～11月30日(水)

64万あまりの市民や市内外からの来館者、誰もが自分に関係する資料や話題と出会う企画展を目指し、船橋に関する50の話題(自然・学校・画家・団地・ヘルスセンター…)を取り上げ、それらの話題に関する資料やパネルを展示しました。

入館時等の手指消毒と展示物の除菌を徹底し、視覚障害者を意識した「触れる展示」、小学生に大人気だった「マンホールパズル・タイムトライアル」のようなハンズオン展示を再開する一方で、「密」回避のために展示解説日は設けず、展示解説動画をYouTubeで公開しました。



### 香取市伊能忠敬記念館

#### 令和4年度企画展 渾天地球の妙を描く

<会 期>令和4年9月13日(火)～11月13日(日)

「渾天地球の妙」とは伊能忠敬唯一の著書『仏国曆象編斥妄』にある言葉で、今回の企画展ではこれまであまり触れられてこなかった忠敬の学問をテーマに展示を行いました。国宝「伊能忠敬関係資料」2345点の中から、地図だけでなく典籍や古文書類を豊富に紹介し、忠敬の功績を多角的に検討しました。

会期中には、多くの来館者の入館があり、混雑が予想できたため、入館制限やサーモグラフを用いた体温チェックや手指消毒を徹底しました。またギャラリートークでは人数制限を設け、「密」回避のための呼びかけを徹底する等の工夫をおこないました。



## 千葉市美術館

## 企画展

## 新版画 進化系 UKIYO-E の美

〈会 期〉令和4年9月14日(水)～11月3日(木祝)

浮世絵版画の卓越した技術と、大正から昭和の新しい表現が融合した新版画というジャンルの興隆と発展を、千葉市美術館のコレクションから選りすぐった作品によって紹介する展覧会を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、入館時の手指消毒の他、従来展示室内で行っていたギャラリートークを、モニターを用いたショートレクチャーとしてロビーで行うなど、「密」を避ける方法をとる一方、ワークショップは人数を限定し、道具などを共有しないことで、オンラインから対面式のものに切り替えて行いました。



## 袖ヶ浦市郷土博物館

## 開館40周年記念企画展

## 富士山 -畏れ・敬い・憧れ-

〈会 期〉令和4年10月1日(土)～12月18日(日)

今回の企画展は、博物館ボランティアである市民学芸員とワーキンググループを結成し、調査・図録原稿執筆・展示作業・付帯事業運営・展示解説等を協働で行いました。テーマの決定は、「富士山だったらみんな好き」という誰かの言葉。そこから、「富士山といえば、何を想像する?何が展示できると思う?」と試行錯誤を繰り返し、それぞれが思う富士山を追及して完成させました(写真は展示解説会での市民学芸員)。

コロナ対応という点では、展示室の換気・入館時の検温・手指消毒等を徹底させる中で、展示解説会や富士塚めぐりバスツアー等も実施し、脱コロナへ一歩踏み出したものとなりました。



## 第71回全国博物館大会(千葉大会)の開催について

令和5年11月に、第71回全国博物館大会(主催:公益財団法人日本博物館協会)が、千葉県で開催されます。

千葉県博物館協会では、同大会を共催することとし、加盟館園および開催地自治体担当部局からなる大会実行委員会を組織し、準備を進めています。また、加盟館園の職員からなるプロジェクト委員の間で、全体会・分科会・エクスカッション等の内容を検討しています。行程や内容の詳細は、4月以降、確定してから広報いたします。

## ●現時点の予定●

## 第71回全国博物館大会(千葉大会)

【期日】令和5年11月15日(水)～17日(金)

【日程】11月15日(水)…午後:開会式、全体会(基調講演、フォーラム)

11月16日(木)…午前:分科会 午後:全体会(シンポジウム、大会決議採択、閉会式)

11月17日(金)…エクスカッション

【会場】千葉市文化センター

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2号館

【主催】公益財団法人 日本博物館協会

【共催】千葉県博物館協会、千葉県、千葉市教育委員会

【後援】文化庁、千葉県教育委員会、千葉市

\*問い合わせ先\*

千葉県博物館協会事務局(千葉県立中央博物館企画調整課) TEL043-265-3111



## 加盟館園一覧(ブロック別)

### 〈千葉ブロック〉

市原歴史博物館 千葉経済大学地域経済博物館  
千葉県立中央博物館 千葉県立美術館  
千葉市立加曽利貝塚博物館 千葉市立郷土博物館  
千葉市科学館 千葉市美術館

### 〈葛南ブロック〉

浦安市郷土博物館 市立市川考古博物館  
市立市川自然博物館 市立市川歴史博物館  
千葉県立現代産業科学館 船橋市郷土資料館  
八千代市立郷土博物館 和洋女子大学文化資料館  
ふなばしアンデルセン公園子ども美術館

### 〈東葛飾ブロック〉

鎌ヶ谷市郷土資料館 千葉県立関宿城博物館  
流山市立博物館 野田市郷土博物館  
野田市立中央小学校教育史料館 廣池千九郎記念館  
松戸市立博物館

### 〈印旛ブロック〉

国立歴史民俗博物館 佐倉市立美術館  
白井市郷土資料館 白井そろばん博物館  
宗吾霊宝殿・宗吾御一代記館 千葉県立房総のむら  
DIC 川村記念美術館 成田山書道美術館  
成田山霊光館 成田三里塚御料牧場記念館  
成田市下総歴史民俗資料館 成田羊羹資料館  
八街市郷土資料館

### 〈香取・海匝ブロック〉

伊能忠敬記念館 大原幽学記念館  
香取神社宝物館 松山庭園美術館  
夢紫美術館

### 〈山武ブロック〉

航空科学博物館 芝山町立芝山古墳・はにわ博物館  
芝山はにわ博物館 山武市歴史民俗資料館  
城西国際大学水田美術館

### 〈長生・夷隅ブロック〉

いすみ市郷土資料館 御宿町歴史民俗資料館  
長南町郷土資料館 房総浮世繪美術館  
睦沢町立歴史民俗資料館 茂原市立美術館・郷土資料館

### 〈君津ブロック〉

鋸山美術館 鹿野山神野寺宝物拝観所  
木更津市郷土博物館金のすず 君津市立久留里城址資料館  
袖ヶ浦市郷土博物館

### 〈安房ブロック〉

鴨川市郷土資料館 鴨川シーワールド  
白浜海洋博物館 館山市立博物館  
千葉県酪農のさと  
菱川師宣記念館(鋸南町歴史民俗資料館)

(令和5年2月末日現在)

## 令和4・5年度 役員・委員紹介

### 令和4・5年度 千葉県博物館協会役員

会長 菅根 幸裕(千葉県立現代産業科学館)

副会長 田中 文昭(千葉県立現代産業科学館)

副会長 山梨絵美子(千葉市美術館)

### 理事<広報委員会>

金子 義則(浦安市郷土博物館)

加藤 紫識(和洋女子大学文化資料館)

### 理事<調査研究委員会>

三石 宏(鎌ヶ谷市郷土資料館)

中村 元重(八千代市郷土博物館)

### 理事<研修委員会>

柴田 芳彦(佐倉市立美術館)

中佐 弘文(いすみ市郷土資料館)

### 理事<地域振興委員会>

杉山 一男(野田市郷土博物館)

西原 崇浩(袖ヶ浦市郷土博物館)

### 監事 米谷 博(千葉県立関宿城博物館)

岩埜 伸二(木更津市郷土博物館金のすず)

### 令和4・5年度千葉県博物館協会委員

#### ◇広報委員会

平田 和彦(千葉県立中央博物館)

小田 真裕(船橋市郷土資料館)

芝崎 浩平(市原歴史博物館)

土屋 雅人(千葉市立郷土博物館)

矢野 篤(廣池千九郎記念館)

#### ◇調査研究委員会

小林 伸一(八千代市郷土博物館)

樽 宗一郎(千葉県立中央博物館)

新 和宏(千葉市科学館)

立野 晃(鎌ヶ谷市郷土資料館)

#### ◇研修委員会

山崎恵美子(千葉県立美術館)

藤原 哲(松戸市立博物館)

松尾 知子(千葉市美術館)

伴 光哲(千葉県立中央博物館)

#### ◇地域振興委員会

猪野映里子(大原幽学記念館)

佐藤 昭久(成田山書道美術館)

今野 友和(航空科学博物館)

鈴木 淳一(千葉県立現代産業科学館)

平塚 憲一(君津市立久留里城址資料館)

御巫 由紀(千葉県立中央博物館)

舛田 隆満(茂原市立美術館・郷土資料館)

(名簿順・敬称略)



## 令和4年度各委員会活動報告

### 広報委員会

今年度は会報『ちばの博物館』第147・148合併号の発行と、協会ホームページの更新を行いました。

『ちばの博物館』第147・148合併号は、市原歴史博物館のオープン、新コーナー「探訪 ちばの博物館」などの特集ページを組んで内容を充実させ、ページ数を増やして発行しました。

協会ホームページ (<http://www.chibahaku.skr.jp/hp/>) は、加盟館園や協会の情報をリアルタイムで知ることができるように、情報を発信していきます。

今後とも、加盟館園の皆様には、情報提供や原稿執筆等のご協力をお願いいたします。

(広報委員会 土屋 雅人)

### 調査研究委員会

今年度は3回の委員会を開きました。『Museum ちば』のテーマを「Museum におけるモノ資料の活用の多様性を検証する」とし、全加盟館から原稿を募集します。また、視察は2023年6月、産業技術総合研究所地質標本館で行う予定です。シンポジウムは行いません。

(調査研究委員会 樽 宗一郎)

### 研修委員会

今年度の研修委員会は、千葉県と合同で「千葉県博物館協会・千葉県合同研修会」を開催しました。当日は、文化庁博物館振興室長井上卓己氏をお招きし、県内博物館等職員の資質向上を図るため、博物館法の改正に伴うポイントを解りやすく解説していただきました。

地域の文化芸術活動のハブと成り得る博物館が、その基本的活動を充実させつつ価値と魅力を共創し、様々な課題に対応していくことへの期待が高まっていることを改めて感じることであった研修会でした。

(研修委員会 山崎 恵美子)

### 地域振興委員会

本委員会では博物館資料救済事業を推進しています。加盟館を8ブロックに分け、中核館を中心にブロック会議を開催し、東日本大震災があった3月11日前後(今年度は3月10日)に情報伝達訓練を行っています。

今年度の中核館は以下の通りです。千葉ブロック(千葉県立中央博物館)、東葛飾ブロック(千葉県立関宿城博物館)、葛南ブロック(千葉県立現代産業科学館)、印旛ブロック(佐倉市立美術館)、香取・海匝ブロック(大原幽学記念館)、山武ブロック(航空科学博物館)、長生・夷隅ブロック(千葉県立中央博物館分館海の博物館)、君津ブロック(袖ヶ浦市郷土博物館)、安房ブロック(館山市立博物館)。

博物館資料救済事業の活動については、ブログ <https://blog.goo.ne.jp/chibahaku> で紹介しています。

(地域振興委員会 御巫 由紀)



## \* 令和5年度の催し \*

館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日
●市原湖畔美術館	TEL 0436-98-1525		●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111	
展覧会	人生に大切なことはすべて絵本から教わった -末盛千枝子と舟越家の人々	4月15日～6月25日	展覧会	秋の展示「手のひらのメディア -吉澤真一マツトラベルコレクション-	10月14日～12月24日
展覧会	市原湖畔美術館開館10周年記念展「湖の秘密」(仮称)	7月～9月	●千葉市美術館	TEL 043-221-2311	
展覧会	「青木野枝展」(仮称)	10月～令和6年1月	展覧会	「前衛」写真の精神:なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄	4月8日～5月21日
●大原幽学記念館	TEL 0479-68-4933		展覧会	三沢厚彦 ANIMALS/5th Dimension	6月10日～9月10日
展覧会	收藏品展2023	5月14日まで	展覧会	荒井良二展	10月4日～12月17日
展覧会	椿海干拓350周年記念「干潟八万石物語」	11月25日～令和6年6月16日	展覧会	サムライ、浮世絵師になる鳥文斎栄之展	令和6年1月6日～3月3日
●鎌ヶ谷市郷土資料館	TEL 047-445-1030		●千葉市立加曾利貝塚博物館	TEL 043-231-0129	
展覧会	流行病と災害の記録in鎌ヶ谷(仮称)	7月15日～10月1日(予定)	展覧会	企画展「あれもE これもE 加曾利E式土器(外房地域編)」	11月下旬～令和6年2月中旬
展覧会	令和5年度新資料展示	10月28日～令和6年1月28日(予定)	●千葉市立郷土博物館	TEL 043-222-8231	
展覧会	鎌ヶ谷市の小学校150周年史(仮称)	令和6年3月～5月(予定)	展覧会	パネル展「京(みやこ)と千葉氏」(仮称)	5月25日～11月中旬
●鴨川シーワールド	TEL 04-7093-4803		展覧会	企画展「商人(あきんど)たちの選択～千葉を生きた商家の近世・近現代～」	7月11日～9月3日
その他イベント等	「千葉県民の日」千葉県在住の中学生以下入館無料	6月15日	展覧会	特別展「千葉城燃ゆ」(仮称)	令和6年1月16日～3月3日
その他イベント等	千葉県の魚「マダイ」の放流体験	6月15日	●DIC川村記念美術館	TEL 043-498-2672	
その他イベント等	「千葉県民感謝月間」千葉県在住の証明提示で入館割引(予定)	6月1日～30日	展覧会	芸術家たちの南仏	3月11日～6月18日
●木更津市郷土博物館のすず	TEL 0438-23-0011		展覧会	アルバース展(仮称)	7月29日～11月5日
展覧会	特別展「木更津と『奈良』」(仮称)	10月21日～12月10日	●流山市立博物館	TEL 04-7159-3434	
●君津市立久留里城址資料館	TEL 0439-27-3478		展覧会	令和5年度出土遺物公開事業「流山新市街地地区の遺跡展」	7月15日～9月3日
展覧会	企画展「長板中形」(仮称)	12月	展覧会	企画展「近世流山の13枚」	9月30日～12月3日
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123 (代)		展覧会	小展示「昔の道具～100年前にタイムトリップ～」	令和6年1月～3月
展覧会	企画展示「いにしえが、好き♡近世好古図録の文化誌」	3月7日～5月7日	●成田山書道美術館	TEL 0476-24-0774	
●山武市歴史民俗資料館	TEL 0475-82-2842		展覧会	弘法大師ご誕生1250年記念「成田山の美術」	4月22日～6月18日
展覧会	企画展「岡も河もよし 道具でみる昔のさんむ」	4月8日～9月24日	展覧会	生誕100年「小山やす子展」	10月21日～12月17日
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562		展覧会	新春特別展「書の紙」	令和6年1月1日～2月18日
展覧会	浮世絵にみるよそおい① 江戸のメイクアップ	5月16日～6月3日(予定)	●成田山霊光館	TEL 0476-22-0234	
展覧会	MADE IN OCCUPIED JAPAN②	6月20日～7月22日(予定)	展覧会	弘法大師と成田山	4月22日～6月18日
●市立市川考古博物館	TEL 047-373-2202		展覧会	霊光館看板コレクション	6月24日～9月3日
展覧会	小企画展「近年の寄贈資料展」(仮称)	8月11日から約1年間	展覧会	所蔵優品展	令和6年1月1日～3月3日
その他イベント等	ナイトミュージアム	8月中旬	●鋸山美術館	TEL 0439-69-8111	
その他イベント等	縄文体験フェスティバル	令和6年3月24日	展覧会	房総から聞こえる響音 長谷川昂の記憶	1月2日～5月14日
●白井市郷土資料館	TEL 047-492-1124		展覧会	鋸山美術館収蔵作品展	5月21日～10月1日
講演会・講座等	古文書講座(入門編)	7月頃 計4回	展覧会	鋸山房州石が支えた都会の風景展(仮称)	10月8日～令和6年3月3日
講演会・講座等	古文書講座(初級編)	9月～12月 計4回	●ふなばしアンデルセン公園子ども美術館	TEL 047-457-6661	
講演会・講座等	郷土史講座	令和6年1月～3月	展覧会	第14回「アンデルセン公園園きりがみコンクール展」	4月23日～5月14日
その他イベント等	夏休み体験教室(まが玉づくり、編布づくり、大福帳づくり)	8月	展覧会	企画展「ミクロ↔マクロ いったりきたり」(仮称)	5月27日～8月15日
その他イベント等	和本づくり	令和6年1月～3月頃	展覧会	令和5年度小・中・特別支援学校「夢・アート展」	8月23日～9月3日
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811		●船橋市郷土資料館	TEL 047-465-9680	
その他イベント等	第26回ミュージアム・フェスティバル	6月3日、4日	展覧会	令和5年度船橋市出張美術展	5月27日～6月11日
展覧会	企画展「袖ヶ浦の外來種」	10月7日～12月17日	展覧会	私たちのまなびや(仮称)	7月15日～9月10日(予定)
その他イベント等	企画展「井出先生の写真館」	5月3日～7月9日	展覧会	吉澤野球博物館資料展示室企画展「早慶戦の大乱闘～リンゴ事件90年～」展(仮称)	7月～8月(予定)
●館山市立博物館	TEL 0470-23-5212		●陸沢町立歴史民俗資料館	TEL 0475-44-0290	
展覧会	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	4月～6月	展覧会	特別展「四代目窯元千葉惣次秘蔵の芝原人形」	3月18日～6月18日
展覧会	企画展 関東大震災100年「関東大震災と館山」	7月29日～10月9日	展覧会	特集陳列「千葉木綿子の芝原人形版画展」	3月25日～6月18日
展覧会	40周年記念展「市立博物館40年のあゆみ」	11月～令和6年1月	展覧会	特別展「生誕100周年鈴木重男絵画展-時代を生きたある人生-(仮称)」	8月中旬頃
●千葉県立現代産業科学館	TEL 047-379-2005		●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131	
その他イベント等	令和5年度プラネタリアム上映会	8月4日～23日	展覧会	千葉県誕生150周年記念事業 美術企画展「人類への愛 鳩川誠一展～初公開の遺作と千葉県の風景～」	令和6年2月14日～3月24日
展覧会	令和5年度企画展「はかる」(仮称)	10月14日～12月3日	●八千代市立郷土博物館	TEL 047-484-9011	
●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400		講演会・講座等	昔遊び体験	4月29日、30日、5月3日
展覧会	パネル展「身近なクモ」	4月18日～6月25日	講演会・講座等	古文書講座入門編(全3回)	6月25日、7月2日、7月9日
展覧会	パネル展「すごろく de 城下を歩こう」	6月27日～9月24日	展覧会	特別展示「くらしのうつりかわり展」	令和6年1月6日～2月25日
展覧会	企画展「地図は世につれ 人につれ」	9月29日～11月26日			
●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111				
展覧会	春の展示「ちばの植物 探・検・隊 -さあ、植物を調べる旅に出よう-	3月11日～5月28日			
展覧会	特別展 千葉県誕生150周年事業 「よみがえるチバニアン期の古生物」	7月15日～9月18日			



## \* 展覧会案内 \*

## 館山市立博物館

## 企画展 関東大震災100年 関東大震災と館山

大正12年(1923)の関東大震災は安房地域に甚大な被害をもたらしました。建物は倒壊し多くの犠牲者がでています。また、関東大震災だけでなく安房地域でこれまでに起こった大災害は海岸地形を変え、人々の生活に大きな影響を与えました。本展では発生から100年目となる関東大震災を中心に、安房地域における自然災害と地形変化、被災と復興への取組みなど災害の爪痕を伝える記録や写真を紹介します。

<会 期>令和5年7月29日(土)～10月9日(月)祝  
 <休館日>月曜日(月曜日が祝日の場合開館し、翌火曜日が休館)  
 <料 金>一般400円 小・中・高校生200円



《安房震災写真帖》 館山市立博物館蔵  
 震災直後の北條町停車場通の様子

## 流山市立博物館

## 企画展 近世流山の13枚

江戸川、坂川、みりん、小林一茶、新選組……現代の流山を語るうえで欠かせないキーワードは江戸時代にルーツを持ちます。これら流山にとって特徴的な出来事や江戸時代を理解する上で重要な要素から13のテーマを取り上げ、それを象徴する13枚の古文書・絵図を中心に据え、関連資料と共に展示します。

<会 期>令和5年9月30日(土)～12月3日(日)  
 <休館日>月曜日(祝日の場合は翌平日)  
 毎月月末(土日の場合を除く)  
 <料 金>無料



《中村用水堰絵図》 流山市立博物館蔵

## 大原幽学記念館

千葉県誕生150周年記念事業  
 企画展 椿海干拓350周年記念  
 干潟八万石物語

椿海の干拓事業が、延宝元年(1673)に惣堀工事が完了してから今年で350年の節目を迎えます。近世初期の大規模新田開発として知られる椿新田干拓の歴史を伝える記録を中心に、干拓から水とのたたかひを経て干潟八万石と呼ばれる一大農業生産地となるまでの歩みを紹介します。

<会 期>令和5年11月25日(土)～令和6年6月16日(日)  
 <休館日>月曜日、年末年始(12/28～1/4)、祝日の翌日  
 <料 金>一般300円、小中学生200円



《下総国輿地全図》(部分) 大原幽学記念館蔵

## 茂原市立美術館・郷土資料館

千葉県誕生150周年記念事業 美術企画展  
 人類への愛 鳩川誠一展  
 ～初公開の遺作と千葉県の風景～

現在の茂原市出身の洋画家 <sup>におがわせいいち</sup>鳩川誠一(1897～1983)は、洋画と水墨画を併用する画法で、国際的にも活躍しました。

代表作「海女人命救助」を中心に、今回初公開となる遺作、千葉県を描いた風景など、計70点以上の洋画・墨彩画・デッサン等を展示します。

<会 期>令和6年2月14日(水)～3月24日(日)  
 <休館日>会期中の休館日はありません  
 <料 金>一般500円(予定)



鳩川誠一《海女人命救助》 茂原市立美術館・郷土資料館蔵

# 日誌抄

## 事務局

### ■令和4年度総会

令和4年5月24日（火）13時30分～14時30分

会場／千葉県立中央博物館

内容／①令和4年度新規加盟館について

②令和3年度事業報告・一般会計決算報告・基金収支決算報告について

③令和4年度・5年度の役員・委員の改選について

④令和4年度事業計画（案）・一般会計予算（案）・基金収支予算（案）について

⑤県博協の組織改編について

⑥第71回全国博物館大会（令和5年度）開催について

### ■第1回役員会

令和4年12月6日（火）10時～12時

会場／千葉県立中央博物館

内容／①令和4年度事業の活動状況について

②全国博物館大会について

## 研修委員会

### ■第1回委員会

令和4年9月11日（金）13時30分～16時

会場／千葉県立美術館

内容／①委員役割分担について

②令和4年度活動予定について（予算・研修会の日時確定・講師選定）

### ■第2回委員会

令和5年2月28日（火）13時30分～16時

会場／千葉県立美術館

内容／①委員役割分担について

②令和5年度活動予定について（予算・研修会の日程・講師選定）

### ■研修会

令和5年1月19日（木）13時40分～15時30分

会場／千葉県立中央博物館

講師／文化庁博物館振興室長 井上卓己氏

内容／「ミュージアムの価値の創造と好循環～改正博物館法の内容とそのねらい～」

## 調査研究委員会

### ■第1回委員会

令和4年9月9日（金）13時～14時

会場／オンライン（zoom）

内容／①今年度の事業計画、予算について

②今期の事業について

### ■第2回委員会

令和4年10月8日（土）13時～15時

会場／千葉県立中央博物館・オンライン（zoom）

内容／①『Museumちば』48号のテーマについて

### ■第3回委員会

令和5年1月14日（土）13時～15時

会場／千葉県立中央博物館・オンライン（zoom）

内容／①視察について

②シンポジウムについて

## 地域振興委員会

### ■各地域ブロックの活動

令和4年9月～令和5年2月

内容／各ブロック会議の開催

### ■ブロック代表者会議

令和5年3月2日（木）

会場／オンライン（zoom）

### ■情報伝達訓練

令和5年3月10日（金）

## 広報委員会

### ■第1回委員会

令和4年9月27日（火）14時～16時

会場／市原歴史博物館

内容／①令和4年度活動計画について

### ■第2回委員会

令和5年2月19日（日）14時～17時30分

会場／廣池千九郎記念館

内容／①会報『ちばの博物館』第147・148合併号の編集について

## 編集後記

『ちばの博物館』147・148合併号をお届けいたします。

加盟館園、各委員会の皆様におかれましては、情報提供または原稿作成にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

今号では、新コーナー「探訪 ちばの博物館」を企画しました。広報委員が訪問した館園の魅力を伝えるとともに、博物館職員との交流も図ることができました。今後も、この企画は掲載していく予定なので、訪問を希望する館園がございましたら、広報委員会までご一報くださいますようお願いいたします。

（土屋）